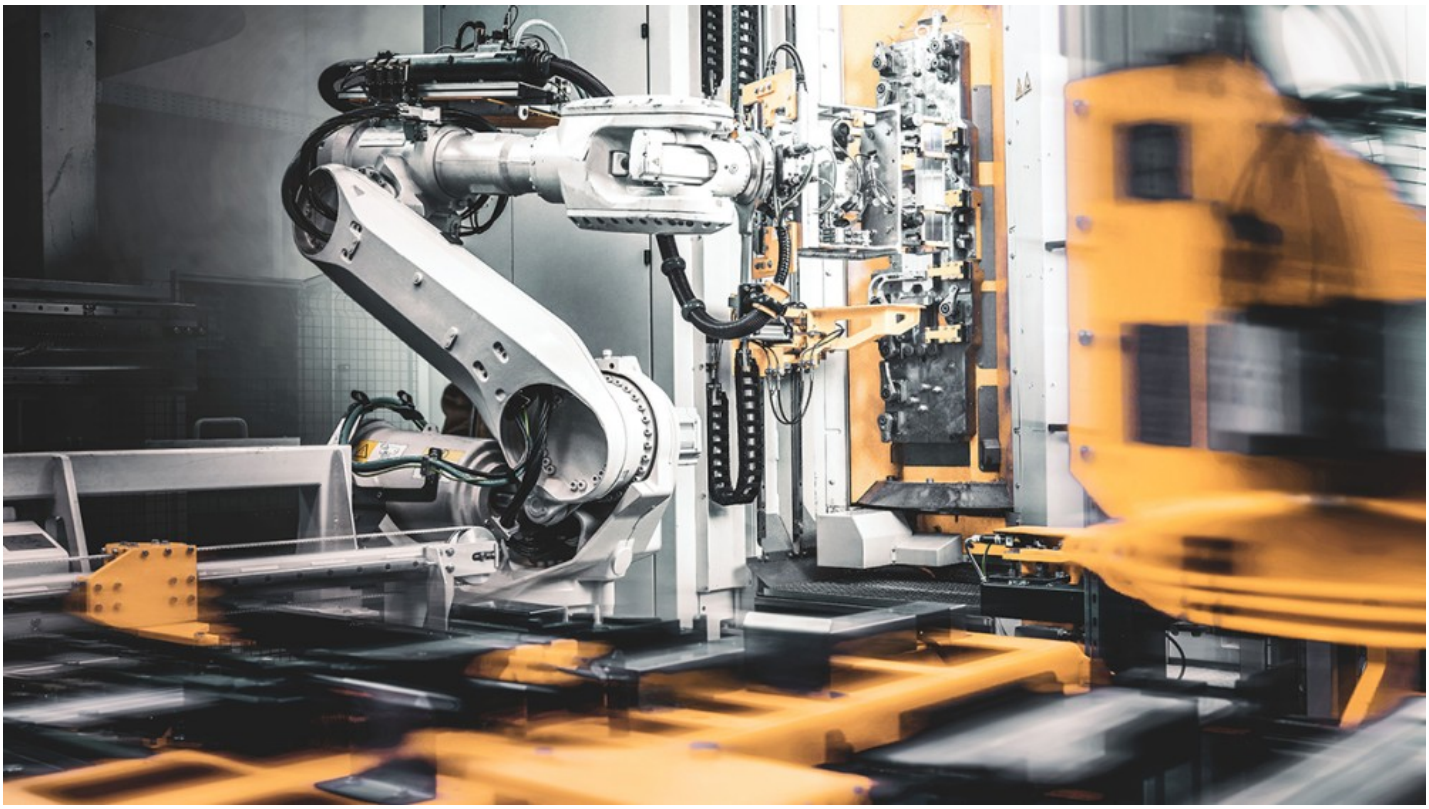

シェフラー ロボットとサービスのイノベーションを日本で披露

シェフラージャパン株式会社 2022年03月08日

自動車および産業機械のサプライヤーであるシェフラーは、 3 月 9 日から 12 日まで東京で開催される、世界最大級のロボット展示会である 2022 国際ロボット展（ iREX2022 ）に出展します。

・世界最大級のロボット展示会である国際ロボット展（iREX）に初参加

・高性能なDuraWave波動歯車装置と軽量のUPRSシリーズモータを日本で初披露

・戦略的買収したMelior Motion 社の、特許取得済み遊星歯車減速機を出展へ

自動車および産業機械のサプライヤーであるシェフラーは、3月9日から12日まで東京ビッグサイト（東京）で開催される、世界最大級のロボット展示会である2022国際ロボット展（iREX2022）に出展します。シェフラーの高精度製品を披露する以外にも、シェフラーが先ごろ戦略的買収を行ったMelior Motion社の製品も展示します。

iREXに初めて出展するシェフラーは、高速性や精密さ、耐荷重の向上が求められる軽量ロボットや協働ロボット（コボット）での利用を見据え、XZU複列アンギュラコンタクト針状ころ軸受、DuraWave波動歯車装置、UPRSシリーズモータ、およびMelior Motion社の遊星歯車減速機を含む高性能部品とシステムアセンブリを展示します。 これらの部品はお客様の要件に合わせて単体で使用することも、性能を最大限に引き出せるようシステムで使用することも可能です。

今年1月、シェフラーは、産業用ロボット向けの革新的な遊星歯車減速機で実績のあるMelior Motion 社を買収しました。同社が特許を取得した、一体型のはすば歯車段を備えた遊星歯車減速機は、円周方向バックラッシュが0.1分未満で、実質的にはバックラッシュフリーと言えます。同様に、特許を取得した摩耗調整設計により、歯車の円周方向バックラッシュは長いサービス寿命全体を通して変わりません。 Melior Motion 社の製品が既存の製品ラインに加わることで、シェフラーはこの成長市場でのビジネスチャンスをさらに拡大していきます。

アジア太平洋地域のインダストリアル社長であるアルフレッド・リーは次のように述べています。
「私たちはiREX 2022への参加を楽しみにしています。シェフラーにとって、ロボットは産業機械事業の重点領域の1つです。当社は数十年間、従来の軸受部品をベースにした産業用ロボット向けの包括的な製品ポートフォリオや、多関節ロボットに適した特殊製品を提供してきました。ロボットおよびオートメーション産業の最前線にいる日本と共に、市場のニーズを満たすために私たちが拡充してきた数々のソリューションを通して、当社の技術専門知識とシステムのノウハウを披露できることを誇りに思います」

シェフラーアジア太平洋地域の最高技術責任者であるフォルカー・マイヤー博士は次のように述べています。
「アジア太平洋地域の急速な経済成長や最新技術への投資の増加により、ロボットオートメーションへの需要が拡大しています。同様にグローバルな課題の観点から、作業リスクを最小限に抑えるため、企業はオートメーションを進めています。主要部品とシステムのサプライヤーである我々にとって、ロボットは重要な事業分野です。そのため、シェフラーは研究開発チームに多額の投資を行い、シンガポールのNanyang Technological University（南洋理工大学）などの有力大学と協力しています。同大学のSHAREの施設では革新的なインダストリー4.0やロボットソリューションの開発に注力しており、お客様のプロセスの最適化、効率性と柔軟性の向上、レジリエンスと持続可能性の強化を支援します」

ロボットアームを含め、主にFA分野で用いられてきたロボットが新たな市場でも使用されるようになっています。同時にこれら新たな市場のうち医療産業などの分野では、単純な繰り返し作業を超える、より複雑な動きが求められており、技術の高度化や市場の成長が期待できます。

この展示会は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を巡る懸念を考慮し、主催者、出展者、来場者を含むすべての関係者の支援と協力のもと感染予防措置を講じた上で開催されます。展示会に足を運ぶことができない方々は、アプリストアからSchaeffler Robotics ARアプリをダウンロードし、シェフラーのロボットソリューションをモバイルデバイスで体験できます。